



▲雄雪の大日ヶ岳とチューリップ 美濃太田支部 杉山 寛仁

CONTENTS

- |   |   |    |  |
|---|---|----|--|
| 2 | <p><b>地本・支部だより</b></p> <p>●名古屋地方本部</p> <p>初めての支部活動<br/>武豊線電化開業を控え武豊駅周辺整備と殉職者顕像を洗浄<br/>愛城トンネル群見学と竜泉寺温泉<br/>“隣の支部と合同開催”で温泉に出掛けました</p> <p>●静岡地方本部</p> <p>支部結成40周年記念旅行と新年会で認知症予防講習<br/>リニア・鉄道部と南知多の秋<br/>ぶどう狩りと山梨リニア見学センター見学、掛川倉真温泉で新年会<br/>秋葉街道散策</p> <p>6 JR東海トピックス</p> <p>9 東海鉄道OB会 会員優待情報</p> <p>10 お元気ですか? 名古屋セントラル病院<br/>大岡がん検診</p> | 11 | <p><b>読者のひろば</b></p> <p>「みたけ」すみれ会 御都支部 中川 博行<br/>思い出の百観音音囃子りの秋 尾北支部 井関 保<br/>新幹線の思い出 浜松支部 園部 英一郎<br/>トンネル工事に関わった私の半生 岐阜工務局支部 木下 繁信</p> <p>13 投稿ページ</p> <p>「お世話になった鉄道」に今年もボランティアで感謝し 焼津支部 井出 利廣</p> <p>14 インストラクター</p> <p>新幹線開業50周年記念写真展示会 静岡支部 中西 敬一</p> <p><b>我が支部の誇り</b></p> <p>食の世界遺産「堂上蜂屋柿」と「日本昭和村」 美濃太田支部 井手 上 安良</p> <p>15 文芸<br/>編集後記</p> |
|---|---|----|--|

## 名古屋地方本部

## 初めての支部活動

滋賀県支部 寺田 年克

滋賀県支部OB会は、ここ数年会員の高齢化によるOB会離れが進み、会員の減少に加え、会員から解散してはの声を上げるほど、支部存続の危機に見舞われました。

その後、残ったわずかな会員の皆さんで加入していない方々への声掛け等を行い、一昨年より24名で再出発しました。

支部活動も従来は、年1回の総会が唯一の活動でしたが、本年度は、何か支部活動によるOB会の活性化を図ろうとの声により、急遽第一歩として、先ず、地元で開催されるJR主催の「さわやかウォーキング」への参加を計画し、昨年11月22日に柏原駅で開催されたウォーキングに参加しました。

参加者は4名と少数でしたが、秋晴れの中、紅葉を楽しみながら楽しい一時を過ごすことができました。

次に、昨年は新幹線開業50周年で記念行事も開催されましたが、当支部会員の中にも米原駅の新幹線の歴史とともに歩んできた方も多く、中には様々な写真、記念品等、当時を偲ぶ品々を所持する人もいましたので、地元米原市の協力を得て、昨年9月23日から10月19日までの間、米原市近江町



▲支部の活性化を期して初参加

図書館の一室をイベント会場としてお借りし、図書館館長はじめ皆さんの協力を頂き、会員所蔵の米原駅工事風景、新幹線走行写真、昭和39年当時の新幹線列車ダイヤ、開業の記念切符等をイベント会場に並べ、また、入口には、開業からの歴史を編集したDVDを写すとともに、JR広報部から頂いたイベントポスターも掲出して記念イベントを盛り上げることができました。

今後も、支部の活動を通じて支部の活性化に結び付けるよう活動を展開して行く予定です。

## 武豊線電化開業を控えて武豊駅周辺整備と殉職者胸像を洗浄

半田支部 成田 信幸

開業から129年の歴史を持つ武豊線が、3月1日待望の電化開業を迎えます。長年この路線を育て見守ってきた支部としては、新しい時代になるこの時、何か皆で活動することがないかと役員が集まり相談し、2月17日に武豊駅周辺を整備することにしました。

当日は、寒い朝ではありましたが12名の会員が集まり、待合室の清掃、駅前広場の除草を行うとともに、殉職者胸像を洗浄しました。

この胸像は、元武豊駅駅手、故高橋 昭氏(当時23歳)で、昭和28年9月台風13号襲来時に堤防が決壊し、高潮により列車運行が危険状態の時、隣駅を発車した列車に対し、荒れ狂う濁流と暴風雨の中、発煙筒を振って停車させ、乗客百余名の命が救われました。しかし、本人は感涙にのまれ悲壮な殉職をされました。

昭和29年、全国の国鉄職員や一般の方から寄せられた寄



▲心を込めて磨いた胸像を写す

付金で建立されたもので、胸像を眺めると長年の風雨等による汚れが目につき初めて手拭で磨きました。その手に胸像の温もりを感じ、鉄道人としての使命である安全への鉄道魂は、時代が変わっても永遠に受け継がれており、改めてその偉い功績に感謝し、全員で花を供えました。

## 愛岐トンネル群見学と竜泉寺温泉

新幹線名古屋施設支部 藤田 和美

当支部は、会員数79名、平均年齢が72歳で、支部の特徴は、東海道線の西方は彦根-長浜、東方は新所原、中央線は中津川、関西線は津・加佐登とバラバラな地域からの集まりで、名古屋を拠点として活動を行い、毎年秋にイベントを企画して交友を図っています。

昨年は、11月29日(土)に愛岐トンネル群の見学と竜泉寺温泉での懇親会を計画し、27名の参加がありました。

天候は、あいにくの雨模様で、名古屋では小雨状態でしたが、定光寺に着いた時にはドシャ降りの雨となり、駅舎から出られないほどで、「行くか、戻るか」迷いに迷いましたが「来たからには行く」「とりあえずは行くしかない」と傘を差しながら口数も少なく3号トンネルまで濡々と歩きました。

やっとトンネルに到着して見上げると、赤いレンガ作りのトンネル側壁に圧倒され、明治施工の素晴らしさを感動しました。入口で頂いた公園レリアウトを見ながら、傘を差したり、曇んたりを繰り返して、懐中電灯の明りを頼りにトンネル群を散策していると、途中水車小屋を過ぎたところで男子用のトイレを見つけました。見れば風情のある垂れ流し「土留壁は崩壊しないか?」などの顔ぶれを笑しながら思い出に残る用意を行い1番長い16号トンネルへ向かいました。

トンネルを抜けたところが泉境で折り返し箇所となり、ここで幹事が背負ってきた缶ビールで喉を潤しながらリターン、ふと空を見上げれば雨も上がっていました。



▲全員揃っての記念写真

帰りは、色鮮やかなもみじ等の景色をゆっくり見ながら歩くとコンサート広場まで戻ってきたところ、既に漬物で一杯やっているではないか。匂いに誘われ早速頂戴し、代わりに焼酎を差し出してまた一杯。会の年相応に合わせたトランペット音色を聞き、日頃の雑道を詫びながら線路屋の話に華が咲き、お酒っていいな~仲間っていいな~と思いつつ酒の酔いも程よく回り、足元を見ればバラスト、久しぶりに靴底へ程よい感触を得て、歴史と当時の匠の拘りを味わいつつトンネル内と線路内めぐりを堪能しました。

心地よい疲労感を感じて竜泉寺温泉にて体を温め、更にお腹も温めて楽しい一時を過ごし帰路に着きました。愛岐トンネル保存再生委員会、そして参加された皆さんありがとうございました。

## “隣の支部と合同開催”で温泉に出掛けました

津島支部 石田 明

毎年計画している支部の日帰り懇親旅行も毎年参加者が減少しており、もう20人が集まらないので今年はどうしたものかと思案していました。

ある時、支部長からの提案で「隣の蟹江支部でも同じような問題を抱えているようなので、合同開催を呼び掛けてみるか」ということになり、話してみたらトントン拍子に計画ができて一緒にやろうということになりました。

そして両支部の役員会に諮り、承認されて目標15名で募集を致しました。でも蓋を開けたら20名の参加でした。

いよいよ開催日(7月15日)が近くなりました。そんな時、蟹江1名、津島2名のキャンセルがやはり出ました。

当日は、天気もよく17名を乗せたバスは、一路湖の山温泉希望荘に向けて走り出しました。到着後すぐ温泉に飛び込み小学生の遠足のような賑わいでした。

入浴後美味しい料理に舌鼓を打ち、思わぬ会話があちこちで始まり出ました。途中カラオケも出て楽しい時間が長く開



▲両支部元気で再会できることを祈っていました

に過ぎました。帰りにほろ酔い気分集合写真を撮りましたので紹介させていただきます。

その後、両幹事と反省会も開催し、また来年に向け楽しい企画をすることを約束いたしました。

高齢化と病気等で会員数が減少する中、会員相互の絆を更に強くし、OB会に在籍して良かったと感じてもらえるようOB会の活動を沢山実施していきたいと思っております。

## 静岡地方本部

## 支部結成40周年記念旅行と新年会で認知症予防講習

藤枝支部 土橋 三部

〔記念旅行〕 昨年11月7日、38名(内女性5名)を乗せてJR東海バスで出発し、支部長挨拶もそこそこ放物等が配られ笑いの中でスタートしました。

リニア鉄道館では、先ず在来線車両の進展振りを見学しましたが、ある会員の若かりし頃乗ったSLやEL、DL等を懐かしそうに見ている姿がありました。また、50周年を迎えた東海道新幹線では、沿線で見られることができる親しみのある車両ですが、丁度我々の鉄道生活と平行しての経歴であり、改めて0系から最新式車両までその進展振りに感動しました。

最後に、一番の目的であるリニア模擬体験乗車しましたが、走行時の浮揚時のショックは余り感じられず、ただスピード表示に驚くばかりでした。

昼食には、名古屋名物のコーチン料理をいただいた後、熱田神宮に参拝し、今後の安寧を祈念しました。

〔新年会〕 年明けの17日、73名(内女性2名)が参加して恒例の新年会が開催されました。

支部長挨拶、賛同の贈呈や表彰等に引き続き、今回初めての趣向として「昭和歌謡でぼけナイト」が始まりました。



▲新幹線を前に記念写真

これは藤枝市内の介護施設職員の2人組が、ユニークな音楽活動を通して認知症を予防しようと、その名も「ぼけナイト」と称して、騎士(ナイト)姿でなつかしい昭和の歌謡曲を鍵盤ハーモニカで演奏し、高齢者に認知症予防を呼び掛けているものです。歌うだけでなく曲の合間には軽快な寸劇や手遊びも繰り出し、対象者が鉄道OBであれば駅や列車の話題を出せば飽きることもなく、また、音楽を使えば頭の体操にも繋がると言っていました。

講習後は、インストラクターによるハーモニカ、ギター演奏で盛り上がる中で賑やかに宴が始まり、懐かしい仲間との談笑に華を咲かせました。

## リニア・鉄道館と南知多の旅

遠州北支部 山本 豊昭

〆 昨秋11月、マイクロバスで会員・家族24名を乗せて一路名古屋をめざして出発しました。

出席者の半数近くは女性であるため、車内は華やかになり、中にはご夫妻での参加が3組、更に、高齢の母と娘さんの親子での参加もありました。

車内には、飲み物、食べ物が見山用意され賑やかな雰囲気の中、運転は、国鉄バス、JR東海バスで勤務した経験のある親自慢のOB会員が担当しました。

当支部管内には、国鉄時代二俣線(現・天竜浜名湖鉄道)と国鉄バスが走っており、これに関連するOB会員も少なくありません。

リニア・鉄道館では、懐かしい車両に感慨を深め、特にSLへの郷愁は強いものがあるようで、みんな我が子を見守るような眼差しで見つめておりました。また、新幹線開業50周年記念の展示を行っていましたが、新幹線開業時に採用された者、既に駅・区で業務に就いていた者等、当時の思い出を



▲みんなで撮ったあの思い出

懐かしく語り合っていました。

次に、リニア映像による時速500kmの模擬体験では、そのスピード感、静かな走行、そして浮揚前後の感触は実物そのもののように感じました。

その後、昼食は伊勢湾の新鮮な魚料理を美味しくいただき「えびせん」や「めんたいこ」等のお土産を両手にして帰路に着きました。

帰りの車中では、今日一日の満足感を語り合い、また、揃って卒寿を迎えたご夫妻は、東京オリンピック、更にリニア開業まで頑張るとのことでした。

## ぶどう狩りと山梨リニア見学センター見学、 掛川倉真温泉で新年会

袋井支部 佃 猛雄

《ぶどう狩りと山梨リニア見学センター見学》

昨年の10月恒例の支部旅行に36名(内女性6名)の参加があり、JR東海バスで出発しました。

河口湖で昼食後、ぶどう狩りに立ち寄り、最良の時期とところで充分秋の味覚を堪能しました。

リニア見学センターでは、実験線の走行試験を間近で見学でき、リニアの車両が轟音を響かせて時速500kmで走る姿を目の当たりにし、現実の姿として参加者全員感動いたしました。

帰りのバスの中では、是非12年後の開業の頃には、乗車しようという声がかこえていました。

《掛川倉真温泉で新年会》 今年の新年会は、少し落ち着いた温泉でゆっくり楽しみたいとの声が多ことから余り遠くない掛川駅北約10kmの山間にある倉真温泉で女性会員や新規入会会員を含む36名が出席して開催されました。

当温泉の歴史は古く、慶長4年(1599年)に発見され、湯治を始めたことによるそうです。

現地到着直後に、温泉に入浴することから往路のバスの中



▲ぶどうを串に記念写真

でのアルコールは控えることとなりましたが、車窓から眺められる茶草場農法で知られる茶畑や森林に一時心を休ませることができました。

宴会開始まで深流沿いを散策する者、直ちに温泉に浸かる者等、それぞれに過ごした後、賑やかに宴会が開始されました。出身職場の系統に拘らず、全員が和気あいあいと酒を酌み交わし、また、ヤマメやとろろ汁の串を十二分に味わい終了予定を大幅に超過して終了しました。

## 秋葉街道散策

浜松東支部 小松 義一

当支部9回目となるウォーキングの会を、昨年11月23日に5名で行いました。

江戸時代中期から秋葉信仰が盛んとなり、特に浜北地域は、秋葉山常夜灯「籠燈」が道々にあります。標の両端には、花刺菱紋鬼瓦を載せ、横瓦には龍文が彫られています。

高根神社は、高根山中腹に鎮座しているため、十八曲りの急峻な岩場を声掛け合い、岩にしがみつきながら辿り着くと、巨岩の前庭に拝殿し、そしてその巨岩の上に小さな社がありました。

竈座祭場の場と推測され、元龜二年(1502年)の建立で正観音像が祀られていました。

高根山古墳は、60度位の急峻な岩場を登った処に約30基、円墳・両袖式・横穴式石室が露出しており、6世紀中頃築かれたそうです。

金刀比神社は、安永六年(1777年)拝殿階段の両側に、雲龍と飛天の彫刻が施され、天井絵が素晴らしいです。

境内には、松尾芭蕉の句碑「春のや>しきと>のふ月と梅」

のほか6基の句碑がありました。

天皇行幸記念碑は、昭和21年6月18日に昭和天皇が行幸した様子が刻まれています。

秋葉信仰により発展したこの浜北地域の人々の絆を深めつつ次回の再会を誓いました。



▲元亀でウォーキングを楽しんだ皆さん

## よりご利用いただきやすいダイヤに 3月14日ダイヤ改正

●東海鉄道事業本部 ●新幹線鉄道事業本部

東海道新幹線では、N700Aの新車投入とN700系改造工事を順次進めてきたことなどにより、最高速度を15km向上して時速285km運転を開始し、概ね毎時1本の「のぞみ」の所要時間を短縮します。

在来線では、武豊線の電化にあわせて列車を増発するとともに、各線区でご利用状況に合わせたダイヤの見直しを実施します。

### 東海道新幹線 最高速度向上で所要時間を短縮したダイヤに

概ね毎時1本の「のぞみ」計37本(うち臨時1本)について、東京～新大阪間の所要時間を3分短縮します。このうち、日中時間帯は上下毎時1本計29本の「のぞみ」について東京～新大阪間を2時間30分(現行は2時間33分)で運転し、早朝・深夜時間帯の4本(うち臨時1本)の「のぞみ」を最速の2時間22分(現行は2時間25分)で運転します。また、この所要時間短縮により、早朝・深夜の一部列車で、名古屋駅における接続を改善し、首都圏と岐阜羽島・米野・北陸方面との所要時間を短縮します。

さらに、ご利用の多い東京発21時台下りについて、定期「のぞみ」を1本増発し、最大4本(定期3本、臨時1本)の「のぞみ」を運転するダイヤとします。

これらにより、終日にわたりお客さまの利便性と「のぞみ」への訴求力を向上します。



### 在来線 武豊線の電化／ご利用状況に合わせたダイヤに

3月1日に電化開業する武豊線では、東海道本線や中央本線などの電車と共通運用となることから、より柔軟なダイヤ設定が可能となります。これを活かして、夕方の通勤時間帯に名古屋から直通の区間快速を1本増発する他、大府から武豊行きの普通列車を18～19時台で3本増発します。

東海道本線では、名古屋～岐阜・大垣間で、朝と夜の時間帯に列車を増発する他、静岡～沼津間で20時台にホームライナーを上下各1本増発します。また、関西本線では夕方の通勤時間帯の列車の編成両数を増やし、高山本線・太田線では、キハ25形・キハ75形気動車で運転する列車を増やすなど、各線区でご利用状況に合わせたダイヤの見直しを行います。なお、北陸新幹線の長野～金沢開業に伴い、名古屋発着の特急「しらかば」は、すべて名古屋～金沢間の運転となります。



## 「東海道新幹線開業50周年」 に関する取組みに対して 社長表彰

●人事部

1月20日、「東海道新幹線開業50周年」に関する取組みによって東海道新幹線の信頼性と地位の向上、お客さまのご利用の促進に大きく貢献したことについて、広報部・営業本部・新幹線鉄道事業本部・関西支社に対し、社長表彰を行いました。

柘植社長からは、「今回の取組みの結果、東海道新幹線の

安全性や安定性、それを支える技術力の高さ、さらには当社への信頼を国内外で大きく高め、お客さまに今まで以上に親しみを持っていただくとともに、この間、実際に多くのお客さまにご利用いただくことができた。この経験を明日への糧として一層の安全・安定輸送、サービスの向上及びお客さまのご利用促進につなげていただきたい」との挨拶があり、関係者の労をねぎらいました。

これに対し、受賞者を代表して東山新幹線鉄道事業本部長が「今後も安全を第一とした東海道新幹線のブランドをさらに磨きあげていくとともに、この仕事に携わる者としての誇りやマインドを次の世代にしっかりと引き継いでいく」と謝辞を述べました。



▲表彰式に出席した皆さん



▲表彰状を受け取る東山新幹線鉄道事業本部長

## 中央新幹線（品川・名古屋間） 工事安全祈願式

●中央新幹線推進本部

中央新幹線（品川・名古屋間） 工事安全祈願式



▲品川駅での工事安全祈願式の様子（山田会長）

12月17日、中央新幹線（品川・名古屋間）の工事の再開となる品川駅、名古屋駅において、工事安全祈願式を執り行いました。

当日は、地元代表者の方々をお招きし、品川駅では山田会長が、名古屋駅では柘植社長が、関係部署や施工会社の幹部とともに、全線での工事の安全を祈願し、安全な工事遂行を誓いました。

今後とも工事の安全、環境の保全、地域との連携を大切に、工事を進めていきます。



▲名古屋駅での工事安全祈願式の様子（柘植社長）

N700Aの環境性能に最高評価

## エコプロダクツ大賞 国土交通大臣賞を受賞

●総合技術本部

当社はこの度、「高い環境性能を実現した省エネ型新幹線車両N700Aの開発と投入」で、「第11回エコプロダクツ大賞 国土交通大臣賞」（エコサービス部門）を受賞しました。

「エコプロダクツ大賞」は、環境負荷の低減に配慮した優れた製品・サービス（エコプロダクツ）を表彰することによって、それらに関する情報を広く伝えるとともに、企業等の取組みを支援することで、さらなる開発・普及を図ることを目的に創設されたもので、大臣賞が最高位にあたります。



▲表彰式の様子

N700Aは、これまでのN700系をベースに最新技術を導入し、安全・信頼・快適・環境の4つの価値をさらに磨きあげた車両です。今回、省エネルギー技術や高いリサイクル性など、優れた環境性能を有するN700Aの開発と投入が高く評価されました。12月11日の表彰式では、吉川副社長が国土交通大臣から表彰状を受け取りました。



▲N700A



▲表彰状

## 安全かつ安心してご利用いただくために 東海道本線・用宗駅の バリアフリー化工事完了

●静岡支社

11月29日、東海道本線・用宗駅のバリアフリー化工事が完了し、設備の使用を開始しました。

今回の工事では、駅舎側ホームと島ホームに、専用エスカレーターと併せてエレベーターを設置し、さらに内方線付きJIS規格化点状ブロックの整備を行いました。

これにより、静岡支社管内のバリアフリー化された駅は30駅となり、お身体の不自由なお客さまやご高齢のお客さまにも安全かつ安心してご利用いただける駅が増えました。

今後も関係箇所と連携を取りながら、駅のバリアフリー化を進めていきます。



▲ご設備外観



▲ご設備に設置されたエレベーター



▲ご設備内観

## チームスローガン「何がなんでも勝つ」

### 硬式野球クラブ 平成27年試合日程

●硬式野球クラブ事務局

平成27年の硬式野球クラブの試合日程が決定しましたのでお知らせいたします。

チームは、4名の新人選手を加え、都市対抗野球大会、日本選手権野球大会へ向け、2月5日から春季合宿を行い、東京スポニチ大会・春季大会・京都大会へ出場し、5月の都市対抗野球東海地区予選を迎えます。

社員・ご家族の皆さまには、ぜひ各球場へお越しいただき、多くのご声援を賜りますようお願い申し上げます。

#### ■平成27年参加大会予定表

大会名	期日(予定)	開催場所
京都大会	4月27日～5月1日	わかさスタジアム 他
都市対抗野球大会 東海地区予選	5月22日～	岡崎市民球場
北海道大会(注)	6月22～26日	札幌ドーム 他
都市対抗野球大会	7月18～29日	東京ドーム
高山大会	8月19～22日	高山球場 他
日本選手権野球大会 東海地区予選	9月4日～	岡崎市民球場
JR大会	9月29～30日	丸亀市民球場
愛知県野球連盟会長杯大会	未定	未定
日本選手権野球大会	未定	京セラドーム大阪

※大会日は開催場所については、変更となる場合があります。

(注)都市対抗野球大会東海地区予選で第1代表となった場合、北海道大会に出場します。

#### 青山監督のコメント

日頃より野球クラブに対し多大なるご支援・ご声援を賜りましてありがとうございます。

昨年の都市対抗野球大会の敗戦を忘れることなく、今年は「何がなんでも勝つ」というチームスローガンのもと、選手・スタッフが一体となり戦い「日本一」を獲得したいと思えます。

引き続き、温かいご支援・ご声援のほどよろしくお願い申し上げます。

#### 硬式野球クラブに新人4名が加わりました。

①生年月日 ②出身高校→出身大学 ③身長・体重・投・打

喜久川 大輔 【投手・21】



①平成4年10月1日  
②中興向学高校  
→聖光学院大学  
③175cm・72kg  
右投・左打

牛場 友隆 【投手・33】



①平成4年8月15日  
②岩倉東高校  
→金沢大学  
③172cm・63kg  
右投・右打

長曾我部 竜也 【内野手・31】



①平成4年7月19日  
②新田高校  
→聖光学院大学  
③170cm・66kg  
右投・左打

中田 亮二 【内野手・24】



①昭和52年11月30日  
②明徳義塾高校  
→中田ドラゴンズ  
③171cm・107kg  
右投・左打





## 名古屋マリオットアソシアホテル ロビーラウンジ「シーナリー」

## リニューアルオープン記念特別優待

名古屋マリオットアソシアホテル15階のロビーラウンジ「シーナリー」が1月21日にリニューアルオープンしました。ホテルの玄関口にふさわしい高級感を残しつつ、テーブルやイスなどの調度品からカーペットに至るまでデザインを一新しました。

また、入口付近にケーキやパンのテイクアウト販売を行う「ベストリーブティック」を新設しました。「本当に美味しいものを、丁寧に」をコンセプトに、厳選素材を用いたケーキやパンのほか、ギフトに最適なチョコレートや焼き菓子などを取り揃えています。

世界最高峰のパティシエ松島製菓料理長が手掛けるマリオット自慢のペストリーを、ぜひご自宅でもお楽しみください。皆様のお越しをお待ちしております。



シーナリー店内

## ロビーラウンジ「シーナリー」リニューアル記念特別ご優待

## 飲食代金10%割引

(テイクアウト販売品は除く)

期間 平成27年4月1日～6月30日

※本会の際、「東海鉄道OB会会員証」をご提示ください。  
 ※OB会会員1名様につき、お連れ様(人数分)も優待致します。  
 ※クーポンアノートは割引適用外です。その他、特別優待商品、ファン商品等、一部割引適用外の商品がございます。



ベストリーブティック



ケーキ

営業時間	平日 10:00～22:00(ラストオーダー21:30) 土日祝日 9:00～22:00(ラストオーダー21:30) ※ベストリーブティックは11:00～20:00
お問い合わせ	ロビーラウンジ「シーナリー」 Tel. (052) 584-1107 (10:00～22:00)

## ホテルアソシア静岡 ご婚礼紹介キャンペーン

期間 2015年4月1日～6月30日 (2016年3月31日分までの挙式対象)

ホテルアソシア静岡では、「ご婚礼紹介キャンペーン」を行っております。挙式者だけでなく、ご紹介にも嬉しい特典がございます。ぜひこの機会にご家族・お知り合いをご紹介ください。

静岡駅隣接のホテルアソシア静岡は、鉄道でのアクセスが便利な立地。充実した施設のホテルなら、挙式から披露宴、二次会利用に至るまで、移動の心配をすることなくご利用いただけます。もちろん宿泊もできるので、遠方からのお客様も安心です。ホテルならではの上品なサービスで、ご結婚されるお二人はもちろん、大切なお客様やご家族の皆様にもご満足いただけるおもてなしを致します。



## 紹介者特典

アソシアギフト券20,000円分をプレゼント! ※100万円以上のご婚礼を実施された場合

## 挙式者特典

ホテル内衣裳室にて新婦様の衣裳を2着以上ご利用の場合、嬉しい5つのプレゼント!

- ① ホテル内衣裳室で利用できる10万円分のチケット
  - ② ホテル内美容室にてボディメイクまたはヘッドスパ(プレゼント)
  - ③ ホテル内写真室にてスタジオ写真1カット(16,000円相当)
  - ④ ホテル内花屋にてブーケ1点(27,000円以上)ご注文でもう1点(上限37,800円)
  - ⑤ 披露宴会場費50%割引
- ※既予約・既紹介分への適用不可。

## ご紹介方法

ご婚礼予定の方のお名前とご連絡先を以下のお問い合わせ先までお知らせください。担当者から、ご紹介予定者様へご連絡させていただきます。ギフト券のお渡しは、ご婚礼代金入金後のお渡しとさせていただきます。



お問い合わせ先 ホテルアソシア静岡 プライダル係 Tel. (054) 254-4140 (受付時間/10:00～19:00)



## 大腸がん検診

名古屋セントラル病院  
消化器内科

医師 長谷川 恒輔



近年、食生活の欧米化が進むにつれて、大腸がんの患者数・死亡者数は男女ともに増加傾向にあります。日本人の死因の第1位は悪性新生物（一般に「がん」と言われます）であり、その中でも大腸がんは男性で3位、女性で1位と大きな割合を占めています（表1）。そこで、大腸がんの早期発見のために重要な「大腸がん検診」についてご紹介します。

表1 悪性新生物の部位別の年間死亡者数

	男性	女性
第1位	肺 (52,039人)	大腸 (21,838人)
第2位	胃 (31,963人)	肺 (20,672人)
第3位	大腸 (25,800人)	胃 (16,651人)

（平成25年度 厚生労働省 人口動態統計より）

### 大腸がん検診の方法

大腸がん検診の検査方法としては、便潜血検査（検便）、内視鏡検査（大腸カメラ）、注腸X線検査（大腸にバリウムを注入して行うX線検査）などがあります。その中でも安全・安価であり科学的に効果が証明されているとして、現在は便潜血検査が最も推奨されています。毎年受けた場合には大腸がんによる死亡率が60%減少すると報告されています。早期の大腸がんは症状が出ないことが多いため、検診を受けていかに無症状のうちに発見するかが重要です。

### 便潜血検査で陽性だったら

便潜血検査の結果、陽性であった場合には精密検査として大腸内視鏡検査をおすすめします。大腸内視鏡検査は検査前に腸管洗浄液を1.5～2リットル程度飲んで便をすべて出した後、肛門から内視鏡を挿入し大腸の観察を行います。なお、「便潜血検査が陽性＝大腸がん」というわけではありませんので、まずは精密検査を受けることが大切です。

### 当院では安全で苦痛の少ない内視鏡検査を心がけています

当院では大腸内視鏡検査を実施する際、患者さんの希望に応じて鎮静剤を使用するなど、身体への負担の少ない検査を行っています。もし検査で大腸がんもしくは大腸ポリープ（がんになる前の段階の病変）が見つかった場合にも、大腸内視鏡によるポリープ切除術（最低1泊2日の入院が必要）や、消化器外科による手術など、当院での治療が可能です。

### さいごに

大腸がんは検診をきっかけに早期発見されやすいがんの一つであり、ある程度進行していても手術による治療が望める病気です。当院の人間ドックなどを利用して定期的に検診を受け、便潜血検査で陽性であった場合には、当院またはかかりつけの消化器内科を受診して精密検査について相談してください。

## 「みたけ」すみれ会



陶都支部  
中川 博行

で設立されました。

初代会長は、高井 薫氏(当時美濃太田運輸長)、会計は古田 浩氏です。古田氏は、発足時から平成20年私が引き継ぐまで23年間に亘りお世話していただきました。

何故「みたけ」すみれ会なのか。御嵩町の美岳カントリークラブ(当時国鉄職員でも何とかが会員様を取得できた?)を本拠地とすることから「みたけ」、「すみれ」は、メンバーの出身地が美濃加茂、東濃、尾張の三地区だったことから、三色すみれの「すみれ」を取って「みたけ」すみれ会とネーミングされたそうです。

趣旨に賛同して加入する会員は年々増え続け、ピーク時には70名が在籍し、大会も11組40数名という盛況ぶりだったそうです。高齢化による退会もあり現在

「みたけ」すみれ会? なにそれ。宝塚歌劇団の同窓会? いや、ゴルフ同好会で歴史のある会です。

国鉄末期の昭和60年2月、美濃地区を中心としたOBや現役に活躍中のゴルフ愛好家が、健康増進とストレスの解消を図り、併せてコミュニケーションの場としたいとの趣旨

33名と減少していますが、それでも毎年4~5名の入会があります。

昭和60年2月15日に第1回大会、以降隔月に年6回、平成26年12月4日には、何と第180回大会を開催しました。分割民営化の直前にこのような発想が出て、それが延々と30年間も継続していることに先ず驚かされます。

会員は、勿論全員が東海鉄道OB会の会員で、所属支部は15支部と多方面から集い、系統もあらゆる系統に及び、平均年齢74歳で最高85歳から最低64歳とバラエティに富んでいます。地方本部の基本方針にあります「支部間交流の推進」の先駆けです。

すごいのは、記録です。各回の優勝・準優勝・3位の氏名や誰それが何時入会したのかまで実に細かく記録されています。また、会の発起人であり、会長を歴任された井関 保氏、原 充氏が今なお顧問として活躍されているのも驚きです。

会員の平均ストロークは、104と高倍をつけていますが、腕よりも口が達者、スコアに関係なく、和気藹々とプレーできるのが、この会のいいところです。皆様の入会大歓迎です。但し、シングルプレーヤーには少くも足りないかも知れません。

## 思い出の百観音霊場巡りの旅



尾北支部  
井関 保

そこで妻とともに「西国33ヶ所霊場」巡りを計画。全行程1,800kmを9回に分け、電車とバス等を利用し、最寄駅からは歩くこととしました。平成6年春、第1番札所・青龍寺へ。その後、結願の寺第33番札所・華嚴寺まで巡拝。各本堂で一家の安全を祈るとともに納経軸と集印帳に朱印を頂きました。どのお寺も豊かな自然に囲まれ、境内に身を置いているだけで心が落ち着きました。この巡礼には4年の歳月を要しました。

以来、霊場巡りの魅力に取り付かれ、念願の百観音巡礼を目指して「坂東33ヶ所霊場」と「秩父34ヶ所霊場」巡りを計画しました。

平成10年と11年には、夫婦揃って吉布を迎え、子供から日光の旅をプレゼントされ、西国巡りを終えたばかりでしたが、平成11年春、関東一円の「坂東33ヶ所霊場」巡り、1,300kmを7回に分け、第1番札所杉本

寺から巡礼の旅を開始しました。この間、妻の交通事故による入院や私の筑波山での大怪我などのアクシデントがありましたが、幸い神仏のお蔭でしょうか、何れも大事に至りませんでした。予定より2年遅れて平成17年9月、結願の寺第33番札所・那古寺まで巡拝。各本堂にて道中の無事を感謝し、集印帳には、結願の印を頂き、坂東札所を回り終えたという感激が湧いてきました。この巡礼には、7年の歳月を要しました。

最後の「秩父34ヶ所霊場」巡りを、平成18年9月に始めました。全行程100kmを第1番札所・四満部寺から結願の寺第34番札所・水瀧寺まで静寂な山村と美しい自然の風景を背景に山路を歩き、ある時は谷を渡り2年間遅延することができました。

これにて百観音霊場巡りを達成。水瀧寺から「日本百観音結願成就」の証を頂き、心からの安堵と感激に涙りました。

早速、信州長野の善光寺と上田の北向観音に参詣し、満願成就のお礼と一家の無病息災を祈願して道路の旅を終えました。また、この巡礼の旅とともに観光地を訪れましたが、何れも風光明媚な景色を楽しむことができました。来年は、米寿を迎えます。体力の衰へる観音信仰を深めたいと思っています。

## 新幹線の思い出



浜松支部  
服部 栄一郎

新幹線は、昨年10月1日で50周年を迎えました。私が18年間新幹線業務に携わってきた思い出を纏めてみました。

私は、東京鉄道教習所専門部機械科を卒業し、昭和24年3月に豊川分工場に配属されました。豊川分工場は、旧海軍工廠跡に建設され、電車修繕開始にあたっては、伊那松島電気車職場と統合され、そして大井・吹田工場とともに東海道線電化業務を遂行しました。

この間、電車検修業務に従事し、また、電検3種の試験に合格し電気の知識を深めました。

昭和38年1月、浜松工場は新幹線電車検修を始めるために11名のトレーナーが発令され、私もその一員となりました。教育は東京で、座学は大井工場で新幹線設計事務所技師の講義を受け、実習は鶴宮モデル線管理所で教育を受けた後、浜松工場にもどり、新幹線検修委員の教育に従事しました。

昭和40年2月、新幹線総局運転車庫車両車高課勤務を命ぜられ、担当業務は機械関係と事故調査でした。

当初は、初期故障が多く大変でしたが、車両に触れる機会も多く大変に勉強になりました。また、総局で出版する新幹線事典の作成にも携わることができました。このハンドブックは今も本棚に飾ってあります。

そして2年の勤務を終り再び浜松工場にもどり、56年3月退職するまでに部品職場、車両二課、学園と勤務しました。

部品職場は、車両の機械部品を検修する職場で、私は、パンタグラフ・空気調和装置について研究し、業務研究会で支社発表をしました。

車両二課では、新幹線電車の技術業務を担当しました。当時は現在のように雪落とし体制が整っていなかったため、大雪の際は、電車指令から要請を受け助役さん達とともに浜松駅で雪落としをしました。

学園では、山陽-東北新幹線検修委員の教育に従事し、技術士試験に挑戦して合格することができました。

昨年8月17日に浜松市博物館で開催された「はまはく鉄道博」を見学し、動画を撮影しYouTubeにアップしました。

この様な新幹線業務に携われたことに感謝し終わります。

## トンネル工事に関わった私の半生



岐阜工務局支部  
木下 繁信

私とトンネル工事との関わりは、国鉄岐阜工務局に就職した翌年の昭和38年1月、市振工区へ転勤になったのが始まりです。

当工区は、北陸本線市振・親不知間の地滑り対策として、別線で親不知トンネル4,536mのうち、2,500mを直轄工事として担当し、作業の指示から現場管理まで、あらゆる事を経験し、トンネルのトの字から諸先輩方に指導を受けました。

この工事は、昭和39年4月鉄道建設公団が発足したのに伴い、直轄から請負工事になり、昭和40年10月営業開始しました。私は、これに伴い糸魚川出張所にあがり糸魚川・志江津間の地滑り等防災対策工事計画を担当し、頸城-名立トンネル(3,601m)が発注されると同時に、名立工区に転勤になりました。

このトンネルは、頸城-名立トンネルの間に新名立駅が計画され、構内の線路有効長を確保するに当たり、両トンネルの出入り口から270mを国鉄初めての3線断面とし、30mを複線断面に戻す中間断面として施工、3線断面区間は、左右側壁導坑先進本巻き上部刊断面で中間区間まで施工しました。

当工区区間の担当工事と規模に近く、昭和44年10月山陽新幹線岡山-博多間の建設計画が始まり、広島新幹線工務局に転勤、ここではトンネルから離れ切盛土工、コンクリート構造物、道水路付替等の明り工事

について4年間勉強しました。

その後、昭和49年3月岐阜工務局長野工事事務所へ転勤し、篠ノ井線明科-西条間の地滑り等防災対策工事で三度、明科工区で第三白坂トンネル(4,260m)工事に従事しました。第三白坂トンネルでは、導坑掘削に国鉄で2回目となるトンネルボーリングマシンRT-45Aを使用し、上半では、坑口付近約400mをロードヘッダーによる機械施工としました。

導坑では、日進17m、月進最大220m、平均138mを記録しています。また、第一白坂トンネルでは、国鉄トンネル工事で採用しだした「ナトム工法」で施工し、この工法にも関わり「ナトム」を勉強できたことは、その後のトンネル工事の糧となりました。

昭和62年国鉄改革でJR東海建設工事に配属になり、平成2年1月に山梨リニア実験線(42.8km)建設工事担当となり、トンネル工事全体42.8kmのうち18.4kmを先行区間としてJR東海は7km、鉄建公団が11.4kmを施工しました。

九鬼トンネル(3,277m)、朝日トンネル(1,793m)は、ナトム工法で施工し、その計画、工事発注、予算管理等を平成9年8月の完成まで担当し、当時としては、JR東海で数少ないトンネル屋でありました。

以上のように、私の人生の半分は、国鉄、JR勤務したうち80%がトンネル工事、新規プロジェクト、大規模工事に携わったことは土木技術者冥利に尽きます。今後の中央新幹線工事が安全・無事故で完成することをOBとして祈っています。

## 「お世話になった鉄道」に今年もボランティアで返し

焼津支部 井出 利廣

昨年8月14日、焼津海上花火大会が開催されました。

当支部では、1998年(平成10年)より国鉄・JRを通じてお世話になった恩返しにと、花火大会に焼津駅を利用されるお客様の誘導案内、終了時のホーム、駅周回の清掃など17年間ボランティアとして奉仕してきました。

焼津市は、マグロ・カツオの遠洋漁業を基幹産業とした焼津漁港が有名ですが、他に目立った観光資源もなく、一千年の歴史と伝えられ毎年8月12日・13日に行われる「荒祭り」と呼ばれる焼津神社例大祭の時に併せ、市内外からの観光誘致の一環として、1975年(昭和50年)8月14日から焼津漁港を利用した「焼津海上花火大会」が開催され、今年で第39回目を迎えました。

当初は、20名を超える会員の参加でしたが、18時30分から20時30分までの花火開催時間も、19時30分からの1時間となり、会員の高齢化等ここ数年は、参加者も10名前後になってきています。それでも乗車・降車別区分のカラーコーン設置・片付け、花火終了後の引き上げるお客様の誘導案内などに奮闘しました。

駅社員皆様へ感謝されての帰宅の途は、足取りも軽やかに帰ってきました。



## 「会報への寄稿・投稿」要領

表紙 写真	会報「JOBとうかい」の表紙に掲載する写真を、広く会員から募集いたします。応募写真は、発行の季節にあつたものでJR東海エリアを希望しています。 写真は、カラーB5サイズ以上一枚、ポジフィルム、デジタルカメラデータでも結構です。 お送りいただいたもののうち、ポジフィルム、デジタルカメラデータ記録媒体は、後日返却いたします。	投稿 ページ	会員及びご家族により楽しんでもらおうと、「投稿ページの欄」を設けました。 東海地区は互連と一緒に、楽しい10日生活を送られている(旅行、遊び等)写真を紹介します。 写真のタイトル及び80字以内のコメントを添えて投稿して下さい。
支部 だより	OB活動の原点は、支部のそれぞれの活動にかかっています。 この欄では、各支部で行われている組合をはじめ、特色ある活動状況を、広く周知・魅力ある支部、活力ある支部づくりに役立てていきますので、是非投稿して下さい。 テーマ、内容等は自由ですが、400～500字を目途にし、写真を添えて下さい。	文芸	会員から、「知歌、俳句及び川柳」を随時受け付けています。応募は、会報発行時に、一名種別ごとに官製葉書一枚に、知歌は二首、俳句は二句、川柳は二句以内限り、会報発行時の季節にあつたものとします。 応募の際、冠頭ご「知歌」「俳句」と朱書きして下さい。
読者の ひろば	会員からの「随筆、情報、体験談等」を随時受け付けています。テーマ、内容は自由です。 原稿は800字以内で、必ず筆者の顔写真を一枚、また記事にちなみ、応募写真があれば添付して下さい。	掲載 要領	寄稿又は投稿された作品は、随時掲載しますが、応募状況や結算の都合、発行時の季節等を考慮するため、掲載が遅れる場合がありますのでご承知下さい。 なお、誤字等は修正させていただきますが、寄稿又は投稿された原稿は返却いたしません。 寄稿・投稿に際しては、必ず応募年月日、所属支部、氏名及び住所、電話番号を明記して下さい。

【寄稿及び投稿先】〒453-0801 名古屋市中村区太閤一丁目3番16号 東海キヨスク牧野ビル内 東海鉄道OB会・会報編集係宛

## インストラクター

### 新幹線開業50周年記念写真展示会

静岡支部 中西 敬一

在職中、東海道新幹線の建設に伴う工事に従事し、その後線路保守業務に転じ、ドクターイエローの乗務経験もあることから退職後新幹線の写真撮影を趣味としており、OB会報の表紙写真にこの3年間で複数回採用していただいています。

この度、東海道新幹線開業50周年を記念して清水銀行静岡南支店のご協力により同店のフロアにおいて、昨年10月1日から31日まで新幹線関係の写真を展示させていただきました。

期間中は、同支店への来店者をはじめ、鉄道OB会、マニア等、沢山の方にご覧いただきました。特に、新幹線と富士山、新幹線と富士川との組み合わせやドクターイエローは大



▲説明にも力が入る中西さん

変好評でありました。

撮影場所についての質問もありましたが、撮影時に特に注意することについては質問には、先ずマナーを守ること、そして富士山は四季はもとより月、日により、更には時間によって変化するもので、タイミングと構図の検討が大事であることをお話ししました。

今年の静岡支部の総会の際には、写真展を行う予定です。

### 我が支部の誇り



## 食の世界遺産「堂上蜂屋柿」と「日本昭和村」

美濃太田支部 井手上 安良

当支部は、温泉で有名な下呂市、郡上踊りの郡上市、世界遺産に登録された美濃和紙の美濃市、刃物で有名な関市、お茶の白川町など、その範囲は、七つの市と七つの町に及んでいます。

今回、当支部の誇りとして二箇所をご紹介します。

一つ目は、「食の世界遺産」として西暦2007年3月に認定された「堂上蜂屋柿」を紹介します。

平安時代の「明衡往来」によれば、美濃国司が朝廷に「枝柿」を献上したときのことが書かれており、この「枝柿」が蜂屋柿と考えられます。室町時代には、瑞林寺(美濃加茂市蜂屋町)が室町将軍第十代足利義穂に蜂屋柿を献上して「柿寺」の称号と、寺領十石の寄進を得たと伝えられています。

江戸時代の柿一個が米一升と同じ価値があるとされ、貴重なお菓子として大切に栽培されました。その伝統を受け継ぎ現在も生産されています。

また、明治時代に活躍した小説家・坪内逍遙の生誕地でもあり、蜂屋小学校の校歌にも蜂屋柿を詠った詩もあり、蜂屋柿に思いを馳せたことが伺われます。

堂上蜂屋柿振興会は、栽培研究会や品評会など開催し、相互の技術の向上や情報の共有に努め、美濃加茂市蜂屋町に伝わる伝統的技法により、一個ずつ丹精を込めて手作



天日干しの風景▶

業で加工し、甘く着色の艶のある干し柿の製品に作り上げています。

毎年11月上旬から収穫し、加工後12月中旬から年間五千箱の出荷をしていますが、食べ頃のものを届けるために、販売の大半は予約制になっています。

※食の世界遺産とは、スローフード協会(イタリアが1997年制定)が認定制度にしたもの。

問合せ先 村瀬農園(美濃加茂市蜂屋 0574-25-2303)

二つ目は、平成記念公園(日本昭和村)であります。

平成15年4月に開園した「日本昭和村」は、昭和30年代の里山の風景を再現し、戦後の昭和時代の復興に向かい皆が協力し、人と人との絆を大切に力強く生き抜いてきた時代に出会える場所とも言えます。

名郷村長の「中村玉塚」さんでもお馴染みの体験型テーマパークであり、懐かしい風景や暮らし、味、そして豊富な体験メニューがあります。富士山が描かれた昭和銭湯「里の湯」も人気であります。

※交通アクセスは、JR高山本線美濃太田駅北口からバス、タクシーで10分です。

## 文芸

## 【短歌】

雄大な 富士の姿を 拝みつづ

照いし事は 何を誇らん

小春日の 野道を行けば 「ソツ」と呼ぶ

春待草の 可憐な姿

豊田支部 鈴木まよ子

一人では 何もできない 妻の手を

かばいながらに 寝返りさせる

津支部 関 寿男

嘸み辨める 今日のおせ ありがどう

明日もあさっても 次の日も又

父の鈴 超えし我が身を ふり返り

まだまだ生き人 生のある限り

浜松支部 山田秀男

歳老いて 聞えたふりして 生返事

妻が諫め また生返事

名古屋運輸車両支部 服部幸夫

着々と 老いの進んで いることは

百も承知の 苗床の仕度

浜松支部 原 哲

## 【俳句】

立春の 湖おだやかに 光りけり

きと波の 潮かがやきて 春立ちぬ

新緑を 轟々破り ケーブルカー

ウオーキング 徒歩となりし 春時雨

津支部 奥村大喜男

良きことの 出会い求めて 秋桜

善友の花 白の極まる 暮色かな

宮参り 福宜祝詞あげ 花吹雪

東濃支部 長江 廣

スタートは 朝の髪削り 背を向き

大府支部 辻 徳夫

手と足が 動くあいだは 生きている

いつの日か 子のスネかじる 日も来よう

三河支部 加藤哲郎

高齢化 どこもかしこも 日向ボフ

春そこに 曾孫と連れだち れんげ摘む

四日市支部 小川 勇

挑んでも やがて子に負け 孫に負け

大府支部 島田 勇

亡文の 差した遺紙に 水を遣り

上役の 意見の筋を 先に読む

岐阜工務局支部 弓削英一

## 【川柳】

## 編集後記

今年も北海道、東北、北陸の各地方は、異常気象で大荒れの冬でした。最近、小春日和の続く暖かな日があり、花の便りが南から北へ駆け抜ける季節となりました。

各地方本部、各地区ともに定時総会のシーズンとなり、準備で役員の方々は無量なご苦労を賜っています。会員の減少とともに総会を開催できない支部もありますが、みんなが楽しめる総会を工夫して開催し、多くの会員が集まれる機会をつくっていききたいものです。

## 1. 地本・支部だより

支部の活動が活発に行われ、今月号は8支部の活動状況をご紹介します。支部活動が停滞していた滋賀県支部から、初めて投稿をいただきました。また、既報で掲載していたIOB会活動として駅の清掃作業や殉職者の胸像清掃をされています。藤枝支部では、認知症予防講習などを開催されるなど多くの会員が集まれる機会を作られています。

## 2. 読者のひろば

陶都支部の中川さんから、「みたけ」すみれ会について、ご紹介いただきました。永来くこの活動を継続していただきたいと思っております。また、岐阜工務局支部の木下さんは、トンネル屋として国鉄、JR東海で活躍され、懐かしい思い出を、浜松支部の服

部さんからは、新幹線の車両屋としてご苦労されたことを、ご紹介いただきました。

## 3. 投稿ページ

機津支部の井出さんから、祝津海上花火大会のボランティア活動を通して、JR東海に協力してお客様の誘導案内に活躍されています。今後この活動を継続していただきたいと思っております。

## 4. インストラクター

静岡支部の中西さんは、会報の表紙写真を多く投稿いただき、随時掲載させていただいております。昨年は新幹線開業50周年で、いろんな場所写真展などを開催されています。今後とも会報の表紙写真を送り続けていただきたいと思っております。

(南川)



気軽に参加できる

# さわやかウォーキング

2015年4月～6月

参加費無料 予約不要 駅がスタート!

一部コースは参加費あり

一部コースは予約あり



詳細については、JR東海の駅にある専用パンフレットまたは、ホームページをご覧ください。  
さわやかウォーキングホームページ <http://walking.jr-central.co.jp>

JR OB とうかい

Vol.41 2015年4月

発行/〒453-0801 愛知県名古屋市中村区太閤1-3-16 東海キヨスク牧野ビル内 東海鉄道OB会本部 発行人/南川 靖 TEL.052-453-7292(FAX兼用)